

チャイルドシート使用状況全国調査(2017)

警察庁/日本自動車連盟(JAF)

■調査の概要

1 調査目的

道路交通法におけるチャイルドシート使用義務の対象である6歳未満の子どもについて、チャイルドシートの使用率及び取付け・着座状況を調査、公表することで一層の使用率向上を図るとともに、チャイルドシートの適正な使用を啓発することを目的とする。

2 調査期間

2017年4月20日(木)～4月30日(日)の間

3 調査の種類

(1)使用状況調査

- ① 調査方法:聞き取り、または目視による確認
- ② 調査対象:自動車に乗車している6歳未満の子ども
- ③ 調査箇所:全国99箇所(調査対象数:13,016人/車両台数:10,673台)

(2)取付け状況調査

- ① 調査方法:取扱説明書に準拠した取付け状況の確認
- ② 調査対象:自動車に取付けられたチャイルドシート(乳児用・幼児用に限る)
- ③ 調査箇所:全国8地域(北海道、宮城県、東京都、愛知県、大阪府、広島県、香川県、福岡県)計16箇所(調査対象数:423シート)

(3)着座状況調査

- ① 調査方法:取扱説明書に準拠した着座状況の確認
- ② 調査対象:自動車内でチャイルドシートを使用している6歳未満の子ども
- ③ 調査箇所:全国8地域(北海道、宮城県、東京都、愛知県、大阪府、広島県、香川県、福岡県)計16箇所(調査対象数:634人)

※上記(2)(3)の調査車両台数は579台である。

●用語について

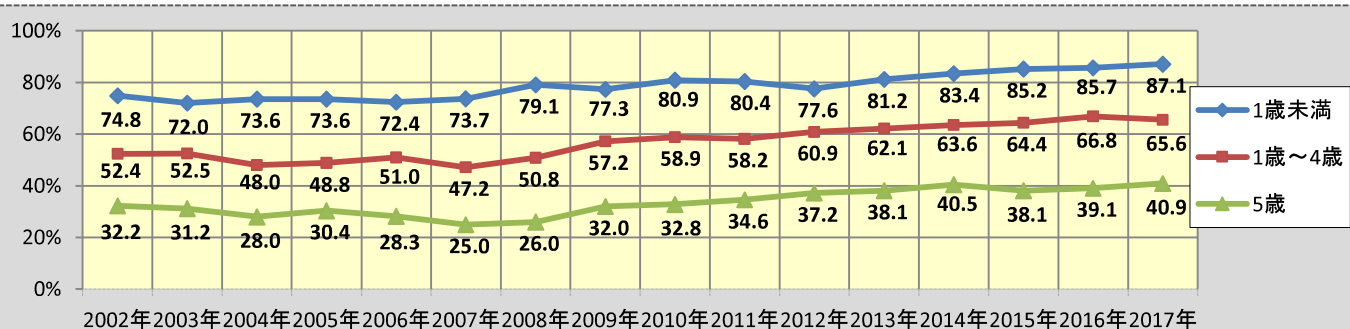
本調査では、対象となる子どもがチャイルドシートを使用しているかの調査を「使用状況調査」、チャイルドシートが正しく車両に取付けられているかの調査を「取付け状況調査」、併せて子どもを正しくチャイルドシートに座らせているかの調査を「着座状況調査」と呼ぶこととする。

本調査では、乳児用シート、幼児用シート、学童用シートを総称してチャイルドシートという。

■使用状況調査結果(使用率の経年推移:6歳未満全体)



■使用状況調査結果(使用率の経年推移:年齢層別)



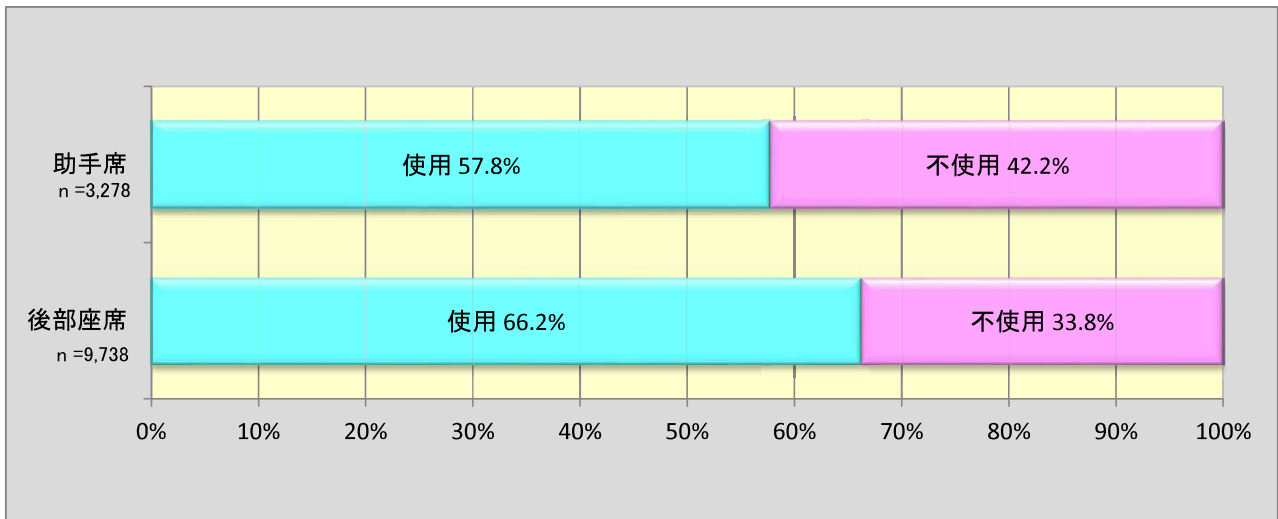
(1)チャイルドシート使用状況調査結果

使用・不使用状況の内訳(集計表)

	年齢層		チャイルドシート使用	チャイルドシート不使用				合計
				車両シートにそのまま着座	チャイルドシートにそのまま着座	大人用シートベルト着用	保護者の抱っこ	
全体	1歳未満	人数	1,528	20	23	2	181	1,754
		比率	87.1%	1.1%	1.3%	0.1%	10.3%	
	1歳～4歳	人数	5,854	1,793	407	457	406	8,917
		比率	65.6%	20.1%	4.6%	5.1%	4.6%	
	5歳	人数	958	815	93	461	18	2,345
		比率	40.9%	34.8%	4.0%	19.7%	0.8%	
6歳未満全体	人数	8,340	2,628	523	920	605	13,016	
	比率	64.1%	20.2%	4.0%	7.1%	4.6%		
助手席	1歳未満	人数	223	6	2	1	37	269
	1歳～4歳		1,308	350	96	283	99	2,136
	5歳		364	175	20	305	9	873
	6歳未満全体		1,895	531	118	589	145	3,278
後部座席	1歳未満	人数	1,305	14	21	1	144	1,485
	1歳～4歳		4,546	1,443	311	174	307	6,781
	5歳		594	640	73	156	9	1,472
	6歳未満全体		6,445	2,097	405	331	460	9,738

※構成比に関しては、各数値を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

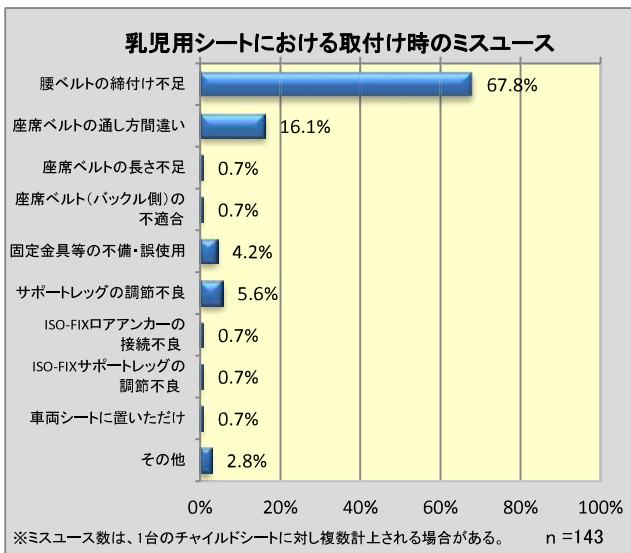
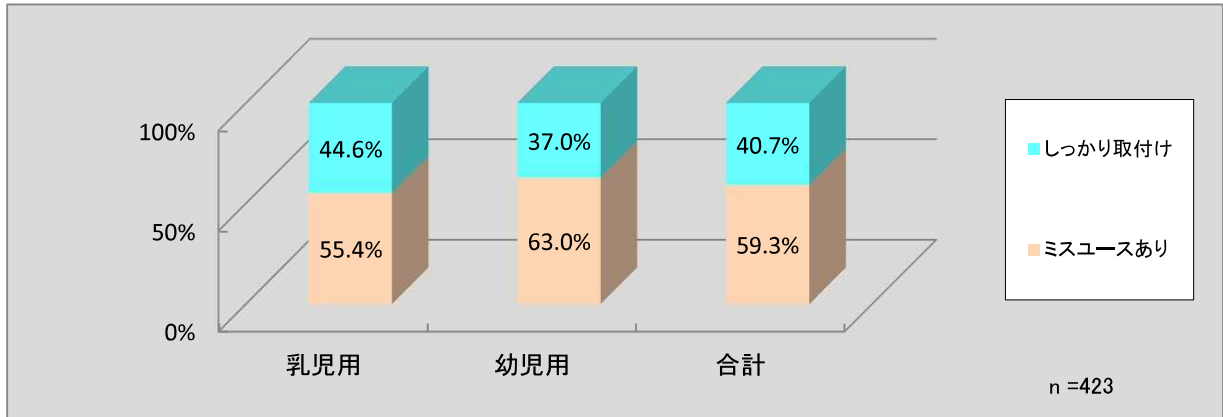
乗車位置と使用・不使用割合(6歳未満全体)



(2)チャイルドシート取付け状況調査結果

自動車内のチャイルドシートが正しく車両に取り付けられているかを調査した。
以下に示すチェック項目に該当しない状態を「しっかり取付け」とした。

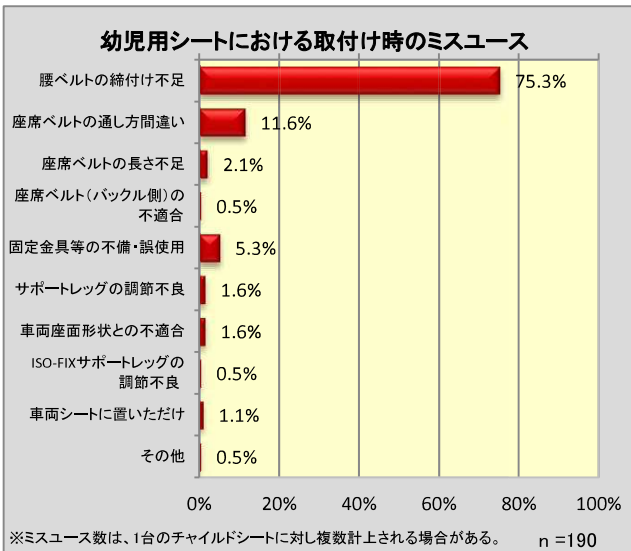
取付け状況調査結果一覧	乳児用		幼児用		合計	
しっかり取付け	91	44.6%	81	37.0%	172	40.7%
ミスユースあり	113	55.4%	138	63.0%	251	59.3%
合計	204	100.0%	219	100.0%	423	100.0%



◇取付け状況調査におけるチェック項目

---ミスユース---

- ① 腰ベルトの締付け不足(張力50N未満)
- ② 座席ベルトの通し方間違い(通し位置の間違い)
- ③ 座席ベルトの長さ不足(車両との不適合)
- ④ 座席ベルト(バックル側)の不適合(車両との不適合)
- ⑤ 固定金具等の不備・誤使用
- ⑥ サポートレッグの調節不良
- ⑦ 車両座面形状との不適合
- ⑧ ISO-FIXロアアンカーの接続不良
- ⑨ ISO-FIXサポートレッグの調節不良
- ⑩ トップテザーの調節不良
- ⑪ 車両シートに置いただけ
- ⑫ その他



◇取付け状況調査におけるチェック例

---腰ベルトの張力測定---

専用の張力計を使い、腰ベルト部分の張力を測定。
50ニュートン未満の場合は、締付け不足と判定。
※判定基準は「チャイルドシートアセスメント前面衝突試験」時の取付け判定基準に準拠する。

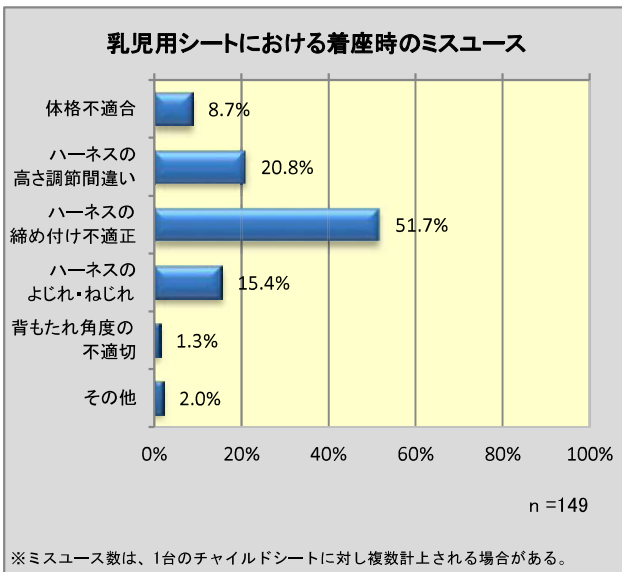
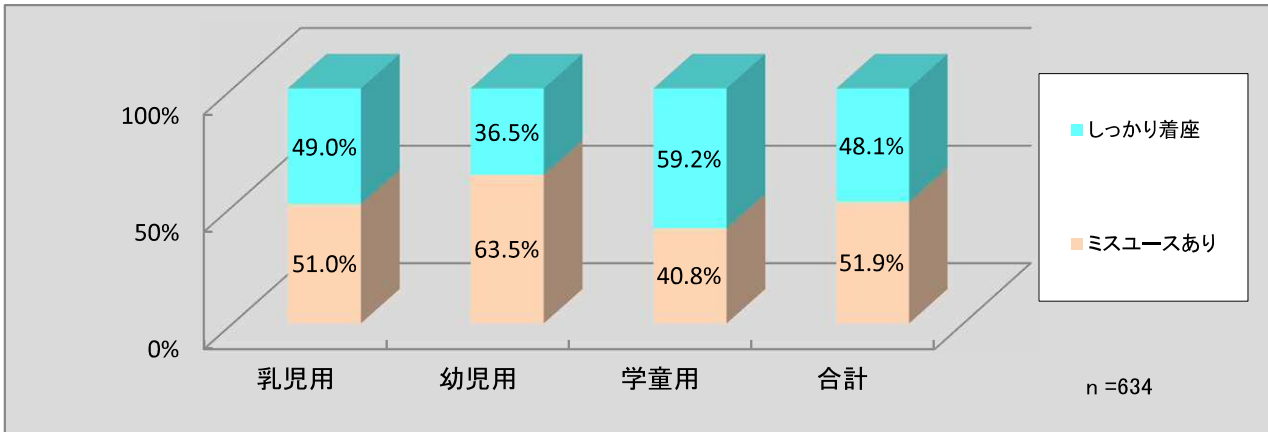


※グラフ中の構成比は、各数値を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

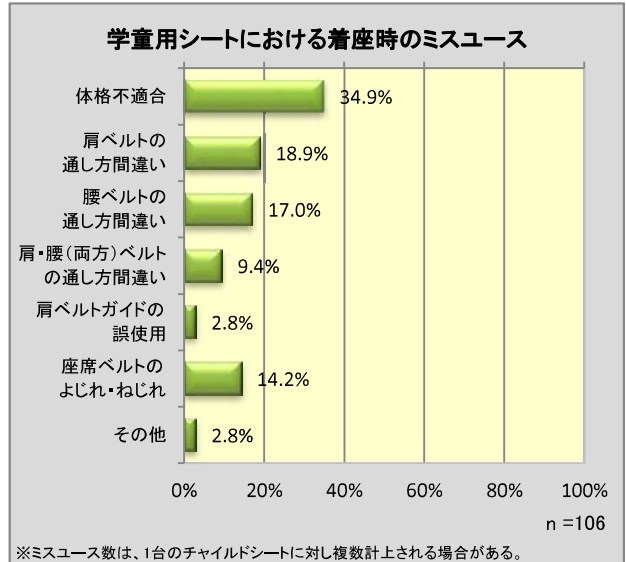
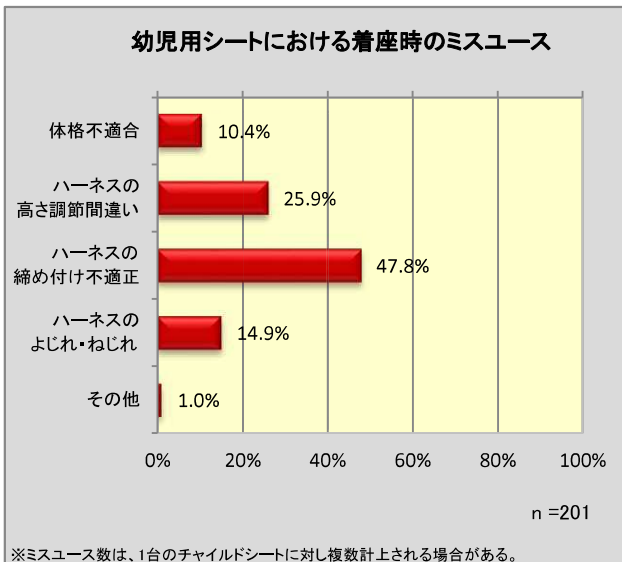
(3)チャイルドシート着座状況調査結果

自動車内でチャイルドシートを使用している6歳未満の子どもを対象に、正しく座らせているかを調査した。以下に示すチェック項目に該当しない状態を「しっかり着座」とした。

	乳児用		幼児用		学童用		合計	
しっかり着座	100	49.0%	80	36.5%	125	59.2%	305	48.1%
ミスユースあり	104	51.0%	139	63.5%	86	40.8%	329	51.9%
合計	204	100.0%	219	100.0%	211	100.0%	634	100.0%



- ◇着座状況調査におけるチェック項目
- ミスユース——
- (乳児用/幼児用)
- ① 体格不適合(装置に対する使用時期)
 - ② ハーネスの高さ調節間違い(高過ぎる・低過ぎる)
 - ③ ハーネスの締め付け不適正
 - ④ ハーネスのよじれ・ねじれ
 - ⑤ 背もたれ角度の不適切(乳児用)
 - ⑥ その他
- (学童用)
- ① 体格不適合(装置に対する使用時期)
 - ② 肩ベルトの通し方間違い(高過ぎる・低過ぎる)
 - ③ 腰ベルトの通し方間違い
 - ④ 肩・腰(両方)ベルトの通し方間違い
 - ⑤ 肩ベルトガイドの誤使用(装置機能の未使用)
 - ⑥ 座席ベルトのよじれ・ねじれ
 - ⑦ 指定ベルト外使用(2点式ベルト使用)
 - ⑧ その他



※グラフ中の構成比は、各数値を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

都道府県別チャイルドシート使用状況調査結果(6歳未満全体)

